

次号予告

特集 需要予測

集合知に基づく予測ツールとしての予測市場技術とその需要予測への応用 …水山 元 (京 都 大 学)
需要予測システム導入を成功に導く需給マネジメントシステム

……………浅田克暢 (キヤノン IT ソリューションズ)

需要予測における OR の役割—適用事例をもとに— ……………塩野直志 (東 京 ガ ス)

北米薄型テレビ事業における需要予測の一事例

……………井上高成 (日 立 製 作 所), 岩宮珠樹 (日立コンシューマエレクトロニクス)

交通需要予測の発展的経緯と現状の課題 ……………毛利雄一 (計量計画研究所)

編集後記

●景気の低迷, 新型インフルエンザの広がり, 高速道路の休日上限 1,000 円政策などにより, この 1~2 年で交通事業者をとりまく環境が大きく変わりました。鉄道では新幹線や特急列車, バスでは都市間を結ぶ路線で軒並み減収となりました。フェリーでは廃業に追い込まれる会社もあり, 中長距離の輸送を担う事業者にとって厳しい環境となりました。一般的に, 交通利用そのものが行動の目的とはならないため交通需要の喚起は難しいものです。コスト削減も必要ですが, 安全への投資が欠かせないため, 運賃の値下げによるものにも限界があります。一方, 都市内の近距離輸送を担う鉄道やバスも団塊世代の退職による通勤利用の減少

による減収が予想されるなど課題をかかえています。

●特集記事では主に都市圏の鉄道・バス・タクシーを対象として, 実際の利用者数などのデータを用いて具体的な分析例が示されています。運営する側・乗客として利用する側・公共交通を利用して来てもらう側と視点も様々で, それらのバランスをどう考えるかという難しさも述べられていました。また, 人の行動という定量的に扱いにくい要素が含まれるなかで, どうやって精度よく予測するかという難しさがあります。こういったところに公共交通を対象として研究を行う奥深さと面白さがあると感じます。今回の特集は身近な話題ですので, 専門に関わらず内容を楽しんでいただける特集になったのではないのでしょうか。(尾崎尚也)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 牧本直樹 (筑波大学)

委員 池邊淑子 (東京理科大学), 石井儀光 (御建築研究所), 尾崎尚也 (財団法人鉄道総合技術研究所), 恐神貴行 (日本アイ・ビー・エム(株)), 木村新之介 (東京ガス(株)), 草刈君子, 栗田佳文 (防衛省), 高野正次 (日本電信電話(株)), 齋藤彰一 (株構造計画研究所), 高嶋隆太 (千葉工業大学), 田島博之 (秀明大学), 筒井美樹 (財団法人電力中央研究所), 豊泉 洋 (早稲田大学), 生田目崇 (専修大学), 西川武一郎 (株東芝), 増田浩通 (千葉工業大学), 八木恭子 (東京大学), 渡邊 勇 (財団法人電力中央研究所)

本誌に掲載された記事についての著作権は, 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成 22 年 3 月号 第 55 卷 第 3 号 通巻 591 号

代表者 伏見 正 則

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 牧 本 直 樹

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970 円 (本体 924 円) 年間予約購読料 11,040 円 (税含)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337) へ